



かえで ゆうびん 11月

2020年11月1日
社会福祉法人 清松学園
幼保連携型認定こども園 かえで保育園
園長 引地 美津代

秋がやってきました。ギラギラしていた太陽から優しい日差しに代わってきました。また、力強い積乱雲からうろこぐもやすじ雲もこもこかわいいひつじ雲・・・高く澄んだ空が見られるようになりました。

「女心と秋の空」といわれるように空の雲の形が一番変わりやすいのが秋の空の特徴ですね。ちなみにすじ雲が出てきた後はお天気が崩れるともいわれています。ふっと眺めて観察するのも面白い景色です。お仕事の合間や少し疲れたな～と思ったとき、体をほぐしながら空を眺めてみてください。私もまだ、幼児性が抜けていないのか雲の形が犬に見えたり、車に見えたり・・・明日も子どもたちと雲の不思議を探してみたいな～と思います。



夏の雲



10・25日撮影（小さい虹が・・・）

さて、お忙しい時間を空けていただきお昼間の個別懇談会も終わりに近づきました。今年は館内入室をご遠慮頂いていますので室内での子どもの様子は見てはいただけません。何とかお子さまの様子を伝えられたらと乳児クラスはビデオを撮らせていただきました。その中で撮られるのを意識している姿の後ろでいつも通りのお子様の様子が面白く、中にはお自分のお子様の様子と後ろや横で過ごしているお子さまの成長も感じていただくような会話も出て、「みんなでぞだてる」が深まってきうれしく思います。一人ずつ編集してお渡ししますのでしばらくお待ちくださいね。ひとり一人のお子様の様子の撮影から、保育の見直しも見えてきました。開園して10年となりますが、お子様のかかわり方、環境配置なども職員間で共有し、見直すべき所は速やかに周知してお子様ひとり一人をしっかり援助していけるよう進めていきます。だいちさんの懇談会は今回は見送りでしたが改めて懇談も計画しています。

お子さまの成長を見守りながら、保護者の方々との関係性も深められ、お子さまが卒園されてもずっと見守り見守られていけることがこの保育界の醍醐味です。保育に携わり始めて振り返るともう40年となります。3年目で5歳児を担当した人たちももう子育てしている歳になっています。先日、久しぶりに元園児さん（中学生）から便りをいただきました。自分の周りのこと、学校の部活のこと等そして虫のこと・花のことも綴られていました。大きくなっても文面で5歳の時に一緒にお庭で草花のお世話をしていた時がすぐによみがえりほっこり。また、近くに来たからと立ち寄ってくださった方（5年生）もそのまま大きくなった姿を見せてくれました。嬉しい再会になんだかまだまだ頑張れる！！と力が湧きました。そして10月末が〇〇歳の誕生日。うれしいことに卒園されたご家族からの便り・そして小学生からの誕生日カードも届き、何より「生きる力」をいただきました。毎日5000歩以上歩くこと・寝る前のストレッチを欠かさず過ごし、いつまでも子どもたちに囲まれ過ごしていけるこの毎日に感謝していきたいと思います。

11月14日には園庭でダンディ・タイムを開催します。

かわいいお子さまが過ごす

お庭のお手入れを一緒にお手伝いいただければと思います。

かえでカフェも工夫して開催する準備をしています。

皆で考えをいただきながら進めていけたらと考えています。



街中の木々が色づき、秋の深まりを感じる頃となりました。

日中の気温差があるこの時期は体調を崩しやすく、子どもたちが日中、園庭や室内で過ごす時間帯は身体を少し動かすだけでも汗ばむぐらいです。登降園時の気候と同じような服装では返って汗をかき、体が冷えてしまいます。初冬は、肌着・半袖Tシャツ・Tシャツと同じぐらいの厚さの長袖の羽織ものをご用意ください。厚着にしたから、風邪を引かないのではなく、子どもの体調に合わせた服装にするのが大切です。ユニオ〇のヒート〇〇は普段着用の子どもの下着には不向きです。肌がカサカサする原因は下着や洗剤などにも多くの問題があり、柔軟剤でも香りが強く残りやすいものは子どもの着衣には使用量を減らしてみてください。子どもにとって何がよいのか服装や着衣の素材・洗剤などを再度見直して見ませんか？また、園で着用する服は「大切なこと」でもお知らせ、お願いしていますが、キャラクターのものでない洋服をご用意ください。着用している子より、場合によっては、周りのお友だちがキャラクターのことが気になってしまう場合があります。

体温調節が自分でできる体と「匂い」を感じることでできる五感を育てることも大切だと感じています。

主幹保育教諭 藤森寿美

お芋ほりの前日、玄関のカウンターにこっそりおいもの絵本を飾りました。

絵本を見つける子どもの反応は見られませんでした。が、「明日はおいもほりたのしみだな」

「どんなごはんにしてたべようかな」など子どもたちの心にわくわくが広がり、少しでも翌日の保育園が楽しみになってくれればと思います。朝夕は肌寒くなり、秋を感じる季節となりましたね。最近、絵本『14ひきのあきまつり』の1ページを開いています。

『きっとできる！だいぼうけんのひ』でだいちさんも体験したおみこしや、夢中でお世話をしているカエル、いつも皆のことは見守ってくれているかめや、園庭で見つけては嬉しそうに握りしめているどんぐりなど、まるでかえで保育園の世界をぎゅっと綴じ込めたようなページを見つけて、嬉しくなりました。

ふと香る金木犀の匂いに懐かしさを感じるように、子どもたちが大きくなった時に懐かしく心がほっとするような、四季折々の景色や思い出を大切にしていきたいと思います。

主幹保育教諭 河本彩奈

～先生コーナー～

朝晩になるとだんだん肌寒くなり、木々も少しずつ色づき始め秋を感じるようになりました。秋といえば「読書の秋」「スポーツの秋」など様々な言葉がありますが、食べる事が大好きな私には「食欲の秋」が一番しっくりきます。今までは食べる事が楽しみでしたが、最近は自分でも料理をしたいと思うようになりました。夕食を作っている母親の手伝いをしたりするなど少しずつ練習をしています。作る事は楽しく好きなのですが、一人で作るとなかなか上手に作れず、レシピとにらめっこしています。学生の頃はバレンタインのお菓子作りも失敗したりしていました。今では少しずつですが作れる料理も増えてきました。母親に作り方を聞きながら

“母の味”を習得中です。今作っている料理は肉じゃがです。母の「おいしい」の一言がとても嬉しく、母と私の料理教室が今の楽しみになっています。料理を作るようになって母の凄さをより感じるようになりました。いつか母のように私も素敵な奥さんになるために、母にたくさん伝授してもらおうと思います。

保育教諭 松岡 桃花

～めばえぐみ～

ねらい：「秋の自然に触れて遊ぶ・たくさん身体を動かして楽しむ」

うた：「どんぐりころころ・げんこつやまのためきさん・オスワリヤス」

保育園にも十分に慣れ、少しずつ自分の意思を伝えてくれるようになってきました。指さして“あっちに行きたい”両手をとんとんと合わせ“おかわりちょうだい”うん、いや、と首を振って教えてくれることも多いです。そんな子どもたちの思いを大切に、言葉になる前の心でのやり取りを楽しんでいきたいと思います。

“ランチルームにいこう！”

雨の日はランチルームでたくさん身体を動かして遊びました。「ランチルームにレッツゴ～！」の声を聞くと「ご～！」と上手に真似っこをしながら自分でランチルームを目指します。ふたば組と合同で過ごすことが多いのですが、走り回るお兄さんたちに負けじと凸凹マットやトンネルをくぐり楽しんでいきます。

異年齢で過ごすと、お姉さんたちがしていることをよく見ており、なんでも上手に真似っこをすることが出来ます。コロコロマットを転がる、ロッククライミングにつかまってみる…楽しそうに遊んでいる姿を見て、自ら“やってみたい！”と意欲的に取り組んでいます。また、にこにこ広場から聞こえる幼児さんの歌に参加して一緒に踊っている子もいますよ。安心できる場所がめばえ組のお部屋から1階全体に、そしてかえで保育園全てに広がり、自ら進んで参加していく姿を見ると、とても嬉しく思います。



“お部屋の模様替え”

10月に入り、これまでワンフロアだったお部屋を棚で空間分けをし、お部屋の模様替えを行いました。朝や夕方にふたば組のお部屋でスプーンを持ったり、お鍋を混ぜ混ぜして楽しんでいた子どもたちがもっと遊び込めるよう、新しくおままごとコーナーを設置しました。めばえ組の子ども達にぴったりサイズの小さなコップ、お皿、白色の小さなお手玉を用意し、めばえのままごとコーナーが完成です。初めは振ったり、出し入れを楽しんでいましたが、最近では“あむあむ”“いただきます～す”の言葉に合わせ、少しずつ「ご飯」という認識が出来てきました。お皿にお手玉を乗せて“どうぞ”と口の前まで運んで差し出してくれたり、口を“パッパッ”と音を立てながら食べる真似っこをして楽しんでいますよ。



また、指先を使う遊びに机を用意し、机上遊びの時間も設けています。玉を落として乗せる、○△□のパズル、動物が隠れているパズル等様々なものに挑戦しています。“ん？”と悩みながらもぴったりはまると嬉しそうな表情で“出来たよ！”と教えてくれます。

指先の使い方、力の入れ方、運び方、真似っこをする観察力、考える力、どんどん出来る事が増え、遊び方もより複雑になってきている子どもたち。そんな子ども達のやってみたいの気持ちを大切にしながらこれからも新しい遊びに挑戦していきたいと思います。

“担任の思い”

めばえ前テラスにプランターを置き、チューリップの球根を植えました。植える時にはぎゅっと握りしめ不思議そうな顔をしていた子どもたち。春に向けて何が起きるのかはまだわかりませんが、プランターにつけているチューリップの絵を指さして“あ！”と嬉しそうに教えてくれます。チューリップの芽が出てくるころ、花が咲くころにはみんな素敵なお姉さんになっているのかと思うと、少し寂しいような嬉しいような複雑な心境になりました。今年はまだあと2か月、今年度はあと5か月となりましたが共に過ごせる日々を大切に、これからも子ども達と楽しみながら過ごしていきたいと思います。

立田瑛怜菜 宝田聖美 柴原ちはる

～ふたばぐみ～

ねらい：「自分で！！」「友達と一緒に」

うた：「どんぐりころころ」「大きな栗の木の下で」「きのこ」

すこしずつ自分の気持ちを言葉で伝えることができるようになってきたふたばさん。友達と思いが通じ合わない時にぶつかることも増えてきましたが、最後には「ごめんね」と言った表情で頭をよしよしとなでたりしています。また自分の使っていたおもちゃを「どうぞ」と渡すその姿をみて自分のことだけではなく相手のことを思いやるやさしい気持ちができるていることを感じとても嬉しく感じます。

「登れるかな」

雨の日はランチルームで身体を動かして遊びます。幼児さんがしているロッククライミングをじーっと見つめ、一番高いところまで登れた友達を見ると「ぱちぱち」とびっくりした顔で拍手していたふたばさん。しばらくするとマットにあがり一番低いところに手をかけて少し登ることができるようになりました。一段、二段とのぼることができるとどんどんと上にあがっていき、下をちらっとみると「こわい」と、すぐそこで支えてくれる保育者に伝え、「おりる？じゃあゆっくりおりようか」と声かけると足を下にさげるのもこわくなってしました。「どうする？登ってみる」と聞くと「うん」ともう一度をのぼりはじめ、一番上まで行き、「すごいー！登れたね」と声をかけると「タッチできた。」とすごく嬉しそうでした。それをみた他のふたばの友達も「僕も私も」とみんなが興味を持ってのぼろうとしていました。



「よしよし、大丈夫」

ぬいぐるみやあかちゃんの人形をだっこしてよく「よしよし」とお世話をしています。自分たちがお母さんやお父さんになったつもりで「あかちゃん、ないているよ」と教えてくれ「抱っこしてあげて」というと「よしよし、大丈夫」と優しく頭をなでて抱っこしています。おままごとで作ったごはんを「はい、どうぞ」とスプーンを口元に近づけ食べせたり、体を洗ってタオルで拭いたりして遊んでいました。



またお世話遊びなどを通して実際にめばえさんの自分より小さな友達にも玩具を譲ったり、「いないいないばあっ！」と顔で手を隠したりして優しく笑いかけています。

また泣いていると「どうしたの」「大丈夫」と頭をなで自分の持っていたおもちゃをそっと渡そうとしていました。このような姿を見ると自分たちがお兄ちゃん、お姉ちゃんに遊んでもらったり、優しくしてくれたことをしっかりと覚えていて、同じようにしている姿を見ると嬉しくなりました。



“担任の思い”

生活面でも遊びでもいろいろなことができるようになってきました。生活では昨日は自分でズボンを履くことがうまくできなくても「自分でする」と最後まで頑張っていました。そして次の日には自分で履けるようになっていたり、子どもたちの成長に驚かされます。これから様々なことができるようになってくるのかと思うと楽しみです。子ども達の日々の成長をこれからも保護者の方と一緒に見守り、喜びをわかちあいたいです。

星加 由美子 植木 雅 松岡 桃花

～つぼみぐみ～

ねらい：「秋の自然をたくさん感じて遊ぶ」

うた：「まつぼっくり・森のくまさん・まっかだな」

朝晩は少しずつ冷え込みが見られて季節の変化が感じられますが、日中はまだまだ半袖で元気いっぱいな子どもたちです。保育者が寒そうにしていると「さむくないで！」と毎日元気とパワーを与えてくれます。そんな子どもたちと秋もどんなことをして遊ぼうか、どんな発見や経験ができるのか、新たな季節も存分に楽しんでいきたいと思います。

～フリージアを植えよう～

夏前に植えた朝顔の種はみんなが一生懸命お世話してくれたお陰もあり、夏に向けてどんどん大きくなりました。8月にはたくさんの花を咲かせてくれ、その色とりどりの花を使って押し花や、たたき初め、色水遊びなどたくさんの活動を楽しむことが出来ました。そんな朝顔も終わりを迎え、今回新しく「フリージア」という花を植えることにしました。みんなにとっては聞き慣れない名前の花でしたが、写真を見ると「き



いろいろでかわいいね！」「はやくうえよう！」と新しい花にも早速興味を持った様子でした。園庭に出ると石を集め、みんなで力を合わせて土を入れ、そして最後には球根を丁寧に植えてくれました。朝顔を育てた経験からその後はじょうろに水を汲み、「おおくなあ〜れ」と水をあげていた子どもたち。予定では春に花を咲かせます。それまで、芽が出てぐんぐん大きくなる様子をみんなで楽しみに見守ってまいります。

～ちいさいあきみつけた～

ある日園庭で遊んでいると、「せんせ〜みて〜！！」と嬉しそうに駆け寄ってきてくれた子どもたち。「なんだろう？」と目を向けると、その手の中には小さなどんぐりが握られていました。少し前まで水遊びを楽しんでいたのに・・・と季節の移り変わりの速さに驚きました。その日からつぼみ組ではどんぐり拾いが大盛り上がりです。青色のどんぐり、帽子をかぶったどんぐり、色々などんぐりを拾い集めては嬉しそうな笑顔を見せてくれています。そこで、もっと広い場所へどんぐりを見つけに行こうと、みんなで交通公園まで散歩に出かけました。道中から大きなバスに手を振ったり、きなこの工場から出る匂いを嗅いだり、つぼみさんにとっての初めてのお出かけはワクワクでいっぱいのような様子でした。そして公園にやって来ると、たくさんのどんぐりを発見！！持ってきた袋にはあっという間にみんなが拾ったどんぐりでいっぱいになりました。しかしまだまだ小さなどんぐり。きっとこれからもっと大きなどんぐりや様々な形のどんぐりに出会うと思います。



子ども達の秋はまだ始まったばかりです。

“担任の思い”

一人から友達と一緒に楽しいと感じられることが多くなってきました。些細なことにも「〇〇ちゃんは？」「〇〇ちゃんと一緒にいい」と友達と比較したり、共有したりと仲間意識が芽生えてきたことがよく分かります。しかしいつも仲良しとはいきません・・・まだまだちょっとしたことでトラブルも付きものです。謝りたいけど素直になれなかったり、自分の思いをうまく伝えられなかったり、乳児から幼児へのステップに進もうとしている子どもたちを少しでも後押しできるような私たちも援助しています。どうしたら仲直りできるかな？一緒に遊ぶにはなんて声をかけようか？日々の保育の中で、子どもたちと共に悩み、考えていくことを大切にしています。

今井奈沙・小坂橋円香・尾崎美緒

“いっしょに”

園庭に出ると鬼ごっこを楽しんでいます。「鬼ごっこしようよ!」「なににおにご?」と話している姿をよく耳にします。ひかり組から始まった小グループから気付けば大人数に。年齢問わず、みんなが集まり、楽しめています。時には、ルールや気持ちの行き違いの中で、互いに思いを伝え合い、言い合いになることもあります。そんなときは、他の子どもたちもどうしたらみんなで楽しくできるかルールを確認したり、子どもたち同士で考え、話し合っています。そんな経験の積み重ねから共有し合ったり、友達と力を合わせることや相手の気持ちに気づくことの大切さを知っていった欲しいなと思います。

年上のお兄さん、お姉さんの姿をよく見ていて、いぶきの中でも「鬼ごっこしよ!」と友達に声を掛け、遊びに誘っています。何度か行うことでルールにも興味を持ち、少しずつ理解しながら行っています。鬼を決める時は「いーろーはーにほーへーと…」とみんな足を出しています。1つの事を友達と共有し合い、互いに話し合いながら一生懸命になっている姿に微笑ましく感じます。

一人遊びから、今では集団で遊ぶ楽しさを感じています。

“友達と一緒に”という子どもたちの想いを大切に、友達と過ごすことが心地よいと感じられるよう、子ども同士の関わりをそっと見守っていきたいと思います。



“秋み～つけた”

10月に入ってから、桂の木の下に落ち葉がたくさん落ちていることに気付いた子どもたちは、落ち葉でいっぱいになっているところを裸足で踏むと感触や音を楽しんだり、友達と落ち葉をかき集めると上から散らばせて遊んでいました。木を見ると「葉っぱ全然ないね」「風が吹いたから?」「もう秋ってこと?」と子どもたちの声が聞こえてきました。秋の植物や葉っぱを拾ってご飯づくりをしたり、緑色や茶色のどんぐりを見つけると手の中に握りしめ、大切に持っていました。

これから園外に出掛けたり、紅葉を見たりと身近な自然の変化から秋を感じる楽しさを子どもたちと共に味わっていきたいです。



“担任の思い”

日々の生活の中で、お世話をしあげたり、してもらったりという姿が増えています。だいち組だからではなく、自然とひかり組の子どもたちもいぶき組の子を気にかけて、「どうする?」「〇〇したいの?手伝ってあげる!」と優しく声を掛けています。隣にいるとつい頼ってしまったり、子どもたちの様子から心で通じ合っているんだろうなと思える瞬間があります。いぶき組の子どもたちにとっても、傍にいると落ち着く存在になってきているんだろうなと思います。異年齢を通じて、遊びでも一緒に考えたり、共に楽しいことを見つけていける関わりを大切にしたいです。

山本 あかね

～はま・かぜ2～

ねらい：秋の自然に触れる。友達の思いを知り、自分の思いを伝える。

うた：「小さい秋みつけた」「まっかな秋」

過ごしやすい季節になってきました。今の季節だからこそ感じられること、楽しむことができる遊びを大切に過ごしていきます。また、遊びを通して人と関わることに心地よさを感じたり、自分の思いが伝わる経験を持ってほしいと考えています。異年齢で過ごしているからこそ感じることができる人と繋がる体験ができるよう、幼児クラスを飛び越えて計画していきます。



“はっけよーい、のこった！”

「よろしくおねがいします！」「みあってみあって～。」
と、園庭から威勢のいい声が聞こえてきます。

いま、子ども達の興味を集めている相撲。

今までもだんだん涼しい時期になると、盛り上がっていましたが、今回はまた一味違うようです。進め方を図鑑で調べて、挨拶の仕方から技の名前まで興味をもっています。



塩を撒くのは、その場を清めること、四股を踏むのは体のなかの病気や悪いものを落とす、など一つ一つに意味や思いがあることも、知っていくことでより興味が深まってきているようです。

最近では、「相撲部！練習をはじめます！」と一人が声を掛けると、だんだん子ども達が集まって来て、練習が始まります。強いお相撲さんになるために、腹筋をしったり、技の練習をしったりと忙しそうなおともたちです。

“みんなで作ろう”

お部屋の積み木コーナーでは、毎日いろいろなものが作られています。春から夏ごろは一人で集中して作ることが多かったのですが、友だちと想いを共有し、どうすれば高く積むことができ、崩れないのか、一人で進めるのではなく、友達と相談して取り組む姿が見られます。



ひとりでは作ることが難しい、長い階段や、街並み、大きな船など、どんどん新しいものが作られ、完成しては壊しを繰り返しています。

毎回壊したあとは山のような積み木を片付けながら、楽しそうな話し合いが始まります。子どもたちのやってみたい！のアイデアがとめどなく溢れ出して、「それいいね！」「ナイスアイデア！」と互いの考えを認め合ったり、自分の考えや思いを言葉で伝える姿も見られます。遊びを通して人と思いを通わせる心地よさを感じて欲しいと思います。



“担任の想い”

将棋や相撲など、現代の子ども達があまり触れることのない遊びを楽しんでいる様子が多く見られます。そんな子どもたちの姿を見て、昔の遊びには、ゲームやテレビでは感じることのできない思いや体験が詰まっていると感じます。

例えば、将棋も相撲も、始まる前と終わった後には必ず挨拶をします。「よろしくお願いします。」「ありがとうございました。」と、子ども達は何気なく遊びの一環として挨拶をしていますが、社会のなかで人と繋がっていくにはとても大切な習慣だと思います。昔の人が思いを持って考えたことの意味を保育者が理解し、遊びを通して子ども達に伝えることができるような役割でありたいです。

～だいちぐみ～

ねらい：「人前で表現することを楽しむ」「相手に伝わりやすいように言葉で伝える」
う た：「たき火」「まっかな秋」「ともだちっていいな」

“きっとできるだいぼうけんのひ”

子どもたちがずっと楽しみにしていたお泊り保育（日帰り）は、運動発表会を終えて、だいち組だけでやってみたいことの話し合いから始まりました。室内遊びのパン屋さんごっこから本物のパン作り、夜は暗いからと行灯作りと様々なアイデアが出ていました。なかでも、今年の七夕まつりで出来なかったお祭り屋さんをするため、3グループに分かれて準備するもの、どんなことができるかルールを決めながら進めてきました。当日はだいち組と15人の先生と過ごすことが楽しめるようにと招待状も書きました。グループやだいち組みんなでやってみたいことを実現するために一生懸命考え意見を出し合う姿も見られました。夕食のバーベキューやパンを焼く火をつけるには何がいるか、調べて買い物に出かけたりとだいぼうけんの日に向けて準備をしました。



当日は、お店屋さんのおにぎり屋さん、パフェ屋さん、お神輿は職員からのサプライズに大興奮！お祭りの雰囲気存分に楽しめました。クッキングでは、パン生地の作り方を知り、食材を切りながら出来上がって並べられた夕食を嬉しそうに見つめていました。日が暮れて待ちに待った夕食の時間。園庭のパン窯に1人ずつ自分のパンを焼き、カレースープ、スペシャルなバーベキューをペアの先生との賑やかな時間となりました。

そして当日のお楽しみ、行燈に光をともしながらお家の人に書いていただいた手紙を読みました。1人1人読み始めると照れながらも嬉しそうに、最後には読んでいる先生をじっと見つめて聞いていました。一人一人の思いが周りの友だちや先生と繋がり、15人の結束ができたように思える1日となりました。



“担任の想い”

だいち組にとって普段とは違う特別な日、どんなことができるか冒険みたいな日にしたい気持ちから『きっとできる！だいぼうけんのひ』と名前を決めました。グループで考えたことがうまく伝わらず困っている様子も見られましたが、一人ひとりが意見を出すことで相手の意見を聞き入れることを大切にできるよう、敢えて担任がグループを分けて見守ってきました。自分の気持ちをまっすぐ相手に伝えることや自分だけではなく、友だちを気遣うことも少しずつ出てきました。担任だけでなく、いろんな先生が見守ってくれていることを感じながらやってみたいことに挑戦する姿、温かいまなざし感じながら1人ひとりが主人公となって輝いてほしいです。

保護者の方からのお話コーナー

最近うちでは将棋が流行っていて、お父さんと晩ご飯後毎日戦っています。

まだ早いんじゃないかな~と思っていたんですが、全然将棋の知らない私に教えてあげるから一緒にやろ!とか言ってきます。かえでもお友達としていて、負ける悔しさ勝つ喜びをどんどん味わってほしいです。

ひかり組 みずえさん

体操の日になると「きょうもまえまわりしよー」と楽しそうに言ってます。

運動発表会でできるようにがんばって練習していたそうです。当日の朝、すごい緊張すると言っていました。「ママにまえまわりみせるね」と嬉しそうに言ってくれました!何回も前回りを見せてくれました。よくがんばりました。

ひかり組 やすよさん

娘に会えば、保育園はどう?って聞くようにしています。昔は楽しかったことばかり言いましたが、最近はそれ以外にケンカしたこと悲しかったことも話すようになりました。

そんなことを考えているんだなあーと心も身体も大きくなっているんだなあーと感じています。

だいち組 てっぺいさん

歌が大好きな娘は保育園から届いたDVDが大好きです。機嫌が悪くなった時、夜泣きした時などDVDを見せるとすぐに落ちつきます。

めばえ組 あきさん

2歳を少し過ぎた頃より、言葉が増え、今では周囲の状況をよく見て会話ができるようにもなり、親も日々の成長に楽しんでいます。

ある日のこと、ママの指の皮が剥がれているのを発見し、心配そうな顔で覗き込み、「だいじょうぶ?いたい?」と頭を撫で「だっこする?」と両手を広げ差し伸べてきました。その姿に思わず感動し、心が温かくなりました。

きっと園でもお兄ちゃんやお姉ちゃんの姿をよく見て観察してるんだらうなあと思います。このまま心の強い優しい子に成長してくれたらなと感じた出来事でした。

ふたば組 きみさん

いろいろな事に興味を持ちはじめ、「空ってどこまで続いているの?」「宇宙って何?何時間でいけるの?」「お月様はなんで形かわるの?」と色々な事を聞いてくるので正確な答えを伝えるのにその都度一緒に図鑑で確認しています。親も勉強になります。

だいち組 よしみさん

最近我が家では、子どもにイラっときた時は「ジャムおじさん風に語りかける」というのがブームです。(一番ジャムおじさんに似ているのはお姉ちゃんですが。)

笑いが起こり、一気に楽しいムードになるので皆さんも良ければお試してください。

つぼみ組 かずよさん

☆お台所より☆

日に日に、肌に触れる風もだんだんと冷たくなり、秋の深まりを感じられるようになりました。11月は旬の冬野菜を取り入れ、外あそび等で冷えた体が温まる献立を考えています。今月も子どもたちが元気いっぱいにごせるようにおいしい食事・おやつを作っていきます。食欲の秋を美味しいごはんですます「食べる」が楽しくなるようにしたいと思います。

～今月の食育活動の様子～

- ・さつまいものつるのすじとり

園で収穫したさつまいものすじとりをだいちさんがしてくれました。固そうにしている場面もありましたが、みんなきれいにむいてくれました。むき終えてから「明日おいしくしてください」と声を揃えて言っていたのが印象的で、次の日は朝から「昨日むいたつるどうなった？」「早く食べたいな～」と言いにきてくれる子もいました。ごはんの時に「どうだった？」と聞くと「おいしかった～」「ほんのりさつまいもの味がしたよ」と自分たちでむいたつるにご満悦の様子でした。

～11月に予定している食育活動～

- ・白玉ポンデケーキの生地作り（だいち）
- ・みぞれ汁の大根の皮むき（いぶき）
- ・はくさいをちぎる（つぼみ）
- ・たまねぎ→皮むき（ひかり）
- ・ピザトーストのトッピング（いぶき）
- ・園庭でやきいも（幼児・つぼみ）

～今月の誕生日会メニュー～

今月はみんなが大好きな唐揚げにプラスして、いつもおやつで大好評のフライドポテトにしました。誕生日ケーキは今が旬の柿とりんごをのせたものにしました。また、いつもとは違う生クリームの絞り方をして、見た目からも楽しんでもらえる工夫をしました。

～11月の献立で使用する旬の食材～

はくさい　ごぼう　れんこん　大根　栗　さといも

～ご紹介～

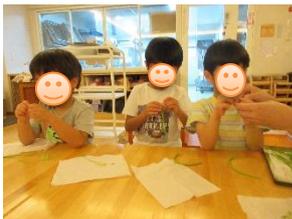
来月の献立に登場するみぞれ汁。



大根おろしを混ぜたみぞれ汁は食欲のない日にもピッタリです。大根おろしの味わいが苦手な方でも、汁物に入れると食べやすくなり、優しい大根の味が口いっぱいに広がります。

おろし大根を入れた後は煮すぎないようにし、とろみをつけると冷めにくくなります。

また、とろみがつくと、低塩分でも満足感を得る事ができるので、ぜひご家庭でも試してみてください。



さつまいものすじとり



さつまいものつる



10月の誕生日ケーキ



• 下記の日程で保育実習生を感染症対策を行いながら受け入れます。

武庫川女子短期大学 2名 11日～21日

こんなことしたよ♪

7日(水)は、いもほりと袋入りそうめん流しがありました。いもほりでは大きなお芋から小さいお芋まで、みんなで力を合わせてたくさん収穫することが出来ました。

そうめん流しは、衛生面を考慮してそうめんを袋に入れて行いました。勢いよく流れてくるそうめんに大盛り上がり子ども達でした。

そうめん流しの後はみんなで美味しくいただきました。



17日(土)はだいち組の「きつとできる! だいぼうげんの日」がありました。

今年は保育園でのお泊りは出来ませんでしたが、お祭りごっこをしたり、パフェやおにぎりをお昼に食べたり、パン作りや園庭でバーベキューをしたり…。盛りだくさんの一日となり、だいち組みんなの素敵な笑顔をたくさん見ることが出来ました。家庭保育など多くのご協力を頂きありがとうございました。



★お願い★

• 体調管理をしてください。
引き続き、衛生管理に努め、丁寧に消毒等を行っていますが、今月から新型コロナウイルスにプラスして、インフルエンザや胃腸風邪などが流行ってきます。お子様の発熱・体調不良の場合は保育できません。登園時の検温でも微熱があった場合お迎えをお願いします。ご理解、ご了承ください。また、解熱しても2日はご家庭で様子を見ていただき無理をして登園することは避けてください。又、**ご兄弟の方も一緒に家庭保育をお願いします。**皆が健康管理に努め感染しないよう気を付けてほしいですね。

• **保護者の方がお休みの場合は家庭保育をお願いします。**

ご兄弟一緒にお休みください。

• **病院や健診など受診の際には、必ず事前にお知らせください。**

• 季節がかわり衣服も衣替えの時期になりました。
園でロッカーを整理し不要な物はお返しします。

11月も半袖の服をご用意ください。

• 園で着用する衣服や持ち物等、名前が記入されているかご確認ください。



11月予定

1日(月) 消防設備点検

5日(木) 園庭でやきいも

6日(金) 全園児お弁当日

*年間予定では13日でしたが変更しています

18日(水) 誕生会

19日(木) 避難訓練・月例健診

11日・20日 絵画

5・12・19・26日 体操

12・24日 だいちぐみ園外保育

*詳細は後日お知らせします。

～各小学校就学前健診～

2日(月) 浜脇

12月予定

12日(土) たのしい成長発表会

*詳細が決まり次第お手紙を配布します

土曜日保育はありません

• 年末年始の休園日

12月29日～1月3日

• かえで保育園の冬期休暇

12月28日～1月6日

* 1号の方・育児休暇中の方はお休みとなります。1号以外の方も保護者の方のお仕事がお休みとなる場合は家庭保育をお願いします。